

第一章 南下編

第 1 日目 (平成 15 年 7 月 20 日 (日))

一路 四国路を目指し南下する 途中、日光、烏山、そして大月まで行く

最初の宿は、特急型列車の「快速 ムーンライト・ながら」に寝ながら乗る

岩沼-いわき-郡山-宇都宮-烏山-日光-大宮-八王子-大月-東京-大垣

いよいよ、鉄道全線連続踏破の出発当日を迎える。

鉄道連続乗車踏破の構想から、早や 13 年余の月日が経過したのであった。

この日の為に早期退職の道を選び、体力の衰えぬうちに“激旅”である JR 線は元より旧国鉄線であった第三セクター線を「青春 18 きっぷ」などを利用して、連続 53 日間に達成の旅が始まったのである。

何しろ、53 日分の「青春 18 きっぷ」11 枚と「夜行 快速 ムーンライトながら、山陽、九州」、嵯峨野観光鉄道、黒部峡谷鉄道の トロッコ 列車、東海道本線の大垣駅 - 米原駅間の「特急 しらさぎ」の乗車券、特急券などトランプ遊びができる位、多くのきっぷを持参しての旅であった。

早朝にもかかわらず、鳴子、古川、そして仙台などから多くの知人や友人が見送りに来てくれた。今から 60 年も前であったら、出征兵士のように日の丸の旗とバンザイの歓喜にあったと思った。正に、“人生史上最大の祭典”であり、天候は晴れ心も晴れており絶好の旅の出発日和である。

旅は天候に大きく左右されるが、53 日間も晴天を期待する訳には行かず、せめて出発時だけでも晴れており天も我に味方してくれたのである。

小生が住んでいる所は、宮城県の JR の常磐線、東北本線の交差駅にある岩沼市である。岩沼市は、政令都市である仙台市のベッドタウンであり仙台空港がある街でもある。岩沼駅発 5:48 は上りの列車としては、常磐線、東北本線ともに朝 1 番の普通列車である。

最初に向かう先は、一路、南国の四国である。

この経路は最初は九州地方に向かう予定であったが、岩沼市と四国にある南国市の姉妹都市記念日が 7 月 23 日の為に変更した。

正に、日本の東から西を目指す文字通り、“東奔西走”の旅の始まりであった。

小生の旅は 1 人旅であるが、取り合えず「青春 18 きっぷ」等を連れた“西遊紀”の始まりである。

最初の宿は「快速 ムーンライトながら 91」で、時間がある為に遠回りして各線を乗車する予定である。

何しろ、小生が持っているきっぷは「青春 18 きっぷ」と言う普通列車の乗り放題である。線路があって普通列車が走っていれば乗れるのであり、何時でも何処までも乗れるのである。運賃は固定であり、時間制限のあるが“飲み放題”と同じ“乗り放題”である。